

# とらのもん

- 新年のご挨拶（院長）
- 新年のご挨拶（分院長）
- リンパ腫を治す！治療法の今と未来
- 分院「すずかけの広場」でリンゴ狩りを行いました
- クリスマスコンサートが開催されました



〈於：箱根・芦ノ湖〉

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、  
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

## 公開講座のお知らせ

『リンパ腫を治す！治療法の今と未来』

血液内科部長 伊豆津 宏二

日時：2月4日（土）14:00 - 15:30

場所：本院 本館3階 講堂（入場料無料）

※ 諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。  
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。



# 新年のご挨拶

院長 山口 徹

明けましておめでとうございます。  
本年もよろしく願いいたします。

昨年は「東日本大震災」という未曾有の大災害に振り回された1年でした。東北地方の亡くなられた方々のご冥福を祈り、被災地の1日も早い復興を祈念いたします。地震規模は観測史上最大のマグニチュード9.0でしたが、本院建物への影響はなく、診療への影響も少なかったのは本当に幸いでした。その後は病院あげて節電対策に取り組み、夏の平均電力使用は前年比88.1%と目標の10%減を達成できました。患者の皆さんのご協力にも感謝いたします。

また昨年来、玄関・入口スロープが遮蔽され、病院前での駐停車も制限され、皆さんにはご不便をお掛けしています。東京都による病院北側の環状二号線（新橋・虎ノ門地区）の道路工事は、近いうちに開始されると思います。今しばらくご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年は年始から、電子カルテが外来・病棟で始まりました。皆さんのご協力により、大きなトラブルもなく、病院IT化の基盤として定着しました。医師もコンピュータ操作になれ、当初よりは診察時間への影響が減り、画面を見ている時間も少なくなったかと思いますが、如何でしょうか。電子カルテの導入により、医療者間での情報共有が容易となり、より安全で質の高い医療を提供できる体制が整いました。また、東京都が今年からがん拠点病院でおこなう地域がん登録や、診療の質の指標（quality indicator）の検討にも役立つと思います。今後は、これらの電子情報を活用した新しい情報発信を行ってゆきます。

虎の門病院は、「東京都認定がん診療病院」の認定に引き続き、「東京都肝疾患診療連携拠点病院」の認定をうけました。わが国で最大の診療実績を積み重ねてきた肝臓内科の努力が認められた結果です。また、厚生労働省の治験拠点医療機関にも引き続き選定されています。本院の玄関傍には、拠点病院として「肝疾患相談窓口」「がん相談窓口」が設けられ、また地域やかかりつけ主治医との医療連携の窓口をも含



めて、「総合相談センター」ができています。診断や治療法・検査や服薬・緩和ケアなど、ご心配な点があればお気兼ねなくご相談下さい。電話での相談も受け付けています。また「総合相談センター」では、人間ドックについての説明・受付も行っています。虎の門病院附属「健康管理センター・画像診断センター」は、病院から少し離れた地下鉄虎ノ門駅の傍にあります。広くゆったりとしたスペースに最新診断機器が導入されており、とても快適な人間ドックです。専門外来での診療では全身の健診を行っているわけではありませんので、人間ドックによるチェックが有効です。インターネットでも予約できますので、是非ご利用下さい。

がんや肝炎の治療では、特に高齢者では、併せて治療している他の病気への配慮も欠かせません。総合病院である虎の門病院は高度に専門分化していますが、他科との連携がよく、多くの科の英知を集めた集学的診療ができます。さらに最近では、救急科・臨床腫瘍科（がんサポートチームも含む）・臨床感染症科など、従来の診療科をこえて横断的に活動する新しい診療科が加わり、病院の総合力が充実してきました。今後も連携を密にして、虎の門病院の基本理念「その時代時代になしうる最良の医療」に恥じない、より総合的で効果的な治療を目指して努力を続けてゆきます。

しかし残念ながら医療には、100%の安全、100%の成功はありません。「お名前の確認」などのように、患者の皆さんのご協力のもとに、医療安全を一步一步高めてゆくしかありません。本年も、職員は心をつにして、安全で満足度の高い医療を目指します。皆さんのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 新年のご挨拶

分院長 熊田 博光

皆様明けましておめでとうございます。  
本年もよろしく願いいたします。

東日本大震災においてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに被災地域の一日も早い復興をお祈りいたします。

平成23年3月11日は、日本人にとって忘れられない、忘れてはいけない大震災が発生し、たくさんの方々が犠牲になりました。復興するために被災地の方々は、懸命に立ち上がろうと必死に生きていらっしゃる姿を、そして被災地以外の方々も、お心を寄せられ多くのボランティアの方々が活動されている姿、そのような光景を拝見しておりますと日本人として誇りに思うとともにこの大震災を乗り越えて前進していかねばと思っております。虎の門病院でも被災地へ医療チームを派遣し医療活動を行ってきましたが、仙台市にあります東北公済病院宮城野分院では、甚大な被害を受けました。また、東北公済病院でも薬・医療機器など不足したため共済組合連合会の全国の病院より物資を運び込みました。多くの方々のご尽力を頂きながら復興へ向けて、本年も歩んでいけますよう願っております。

一方、スポーツの世界では、女子サッカーなでしこJAPAN がワールドカップで優勝という日本女子史上初の快挙を達成され、その後も新たな目標を定め今年7月12日からロンドンで開催されるオリンピックへの金メダルを目指して活躍されています。平成24年は、日本人が、目標を持ち頑張っていく姿勢が求められている年だと感じております。

さて、分院の外来体制では内科総合診療科が充実しました。昨年6月に消化器内科部長として柳内綾子先生が就任されました。得意な分野は、胃・腸の内視鏡検査で

すので早期の胃がん・大腸がんの発見に大きく貢献させていただけると思います。また、ピロリ菌の除菌は胃がんの発癌リスクを減らせることができ、早期の胃癌であれば確実に治療を行うことができます。大腸がんは、ここ数年女性の死因の第一位となっています。大腸がんも胃がんと同様に早期発見で確実に治療ができることから、是非検査をためらわず受診していただけるように体制を整えました。さらに、女性内科として若林真理子先生が就任され、漢方治療を中心として女性特有の疾患に対しての診療を始めさせていただくこととなりました。また、分院でも無菌室を8室新設いたしましたので、血液内科部長和氣敦先生の基で骨髄移植にも対応できるよう施設を充実させました。

肝臓センター（肝臓内科）としては、東京都において2施設のみという東京都肝疾患診療連携拠点病院の拝命を賜りました。肝臓センターとして今後も従来どおり本院・分院ともに新規治療を受けていただけるよう精進して参ります。高度な医療を推進するには治験の役割は欠かせないと考えています。治験にあたっては、医師のみならず薬剤部・看護部・臨床検査部・ドクターエイド・治験事務局など多くの部署の協力のもとに成り立ち、その完遂率及び質の高さも必要となっていきます。お陰様で虎の門病院は、質の高い治験を進めることができしております。

分院では、持ち前の小回りの効く地域に密接した医療を提供できますように本年も歩んで参りますので、宜しく御願いたします。



## リンパ腫とはどんな病気ですか？

リンパ腫は、リンパ球という白血球の一種からおきる悪性腫瘍（がん）の一種です。1年間に日本国内でリンパ腫と診断される方の数は、平成19年の統計で約14,000人とされており、胃がんや大腸がんと比較すると数は少ないですが、男性では9番目、女性でも10番目に多いがんのタイプです。

「リンパ」という名前からは、リンパ節が腫れて「こぶ」を作る病気というイメージを持たれるだろうと思います。確かにリンパ節が主な病気の場合である患者さんが多く、くびやわきの下などの触って分かるリンパ節が腫れるというのが典型的な症状です。胸やおなかの中にあるリンパ節が腫れて見つかることもあります。一方、胃腸や皮膚などリンパ節以外のさまざまな臓器にリンパ腫ができることもあります。

もともとリンパ球は、ひとの体を外部の敵から守るはたらきをしている細胞で、B細胞・T細胞・NK細胞などさまざまなタイプのものがあります。これに対応して、リンパ腫にもB細胞性リンパ腫・T細胞

## 血液内科部長

伊豆津 宏二 平成6年卒



<専門分野>

リンパ腫、骨髄腫

<資格・所属学会等>

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医

日本血液学会血液専門医・指導医

日本リンパ網内系学会、日本造血細胞移植学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌学会、米国血液学会、米国臨床腫瘍学会

胞性リンパ腫・NK細胞性リンパ腫があり、さらにいくつかのタイプの病気に分かれています（表）

（図1）。リンパ腫はタイプによって進行の速さ・起きやすい臓器・適切な治療・治りやすさなどが異なります。

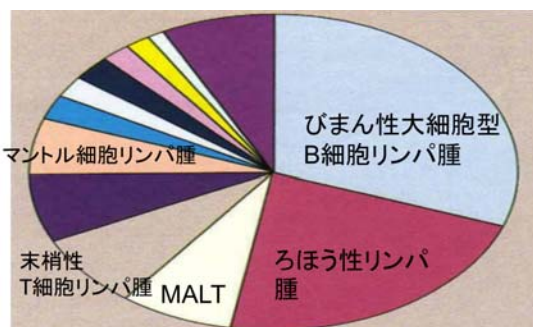
## 現在のリンパ腫の治療法は？

### 1) R-CHOP療法

もっとも頻度の多いびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の場合を例として、実際の治療について解説します。びまん性大細胞型B細胞リンパ腫は、抗がん剤が効きやすいタイプのリンパ腫で、標準的治療とされるR-CHOP療法により60%以上の方が治ります。R-CHOP療法は、3週間に1回、6（～8）コース繰り返し行う化学療法で、主に外来通院で行われます（図2）。CHOP療法は30年以上前からある治療法で、3種類の抗がん剤の注射・点滴とステロイド剤の飲み薬を用います。おこりやすい副作用として、脱毛・手指のしびれ・便秘・吐き気・好中球減少症などがあります。好中球減少症は、通常は症状として出ませんが、この状態では肺炎や敗血症といった重い細菌感染症によって高熱を出すリスクが高くなります。このため、R-CHOP療法の治療の途中で発熱をおこした際には必ず病院にかかって診察を受けることをお勧めしています。ところで、R-CHOP療法の「R」は、リツキシマブという遺伝子工学の技術を使って作られた抗体医薬を指しています。リツキシマブは、B細胞の細胞表面に特徴的にあるCD20というたんぱく質に結合して、これが付いた細胞を殺す効果があります。一方、体のほかの臓器の細胞にはCD20はないので、はじめてこの薬を点滴する際の発熱などの症状（輸注関連反応）を除いて、大きな副作用が少ないのが特徴です。リツキシマブは、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対して、腫瘍を小さくする効果を示しますが、これだけでは治すことはできません。ただ、CHOP療法とリツキシマブを組み合わせて治療すると、CHOP療法

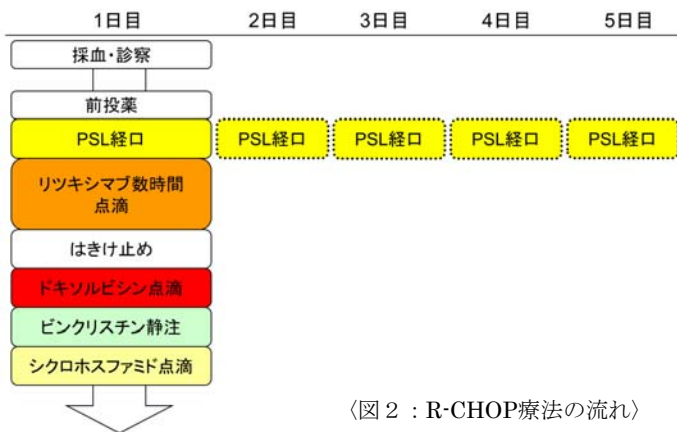
B細胞腫瘍	T/NK細胞腫瘍
■前駆細胞の腫瘍	■前駆細胞の腫瘍
B細胞性リンパ芽球性リンパ腫/白血病(ALL/LBL)	T細胞性リンパ芽球性リンパ腫/白血病(ALL/LBL)
■成熟細胞の腫瘍	■成熟細胞の腫瘍
慢性リンパ性白血病/ 小細胞性リンパ腫(CLL/SLL) ろほう性リンパ腫(FL)	末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL-NOS) 血管免疫芽球性 T細胞リンパ腫 菌状息肉腫 /セザリー症候群(MF/SS)
マントル細胞リンパ腫(MCL)	成人T細胞白血病 /リンパ腫(ATLL)
MALTリンパ腫	節外性NK /T細胞リンパ腫・鼻型
びまん性大細胞型B細胞 リンパ腫(DLBCL) パーキットリンパ腫 /白血病(BL)	ホジキンリンパ腫
形質細胞腫瘍(骨髄腫など)	

〈表：リンパ系腫瘍のWHO分類（抜粋）〉



〈図1：代表的なリンパ腫病型の内訳〉

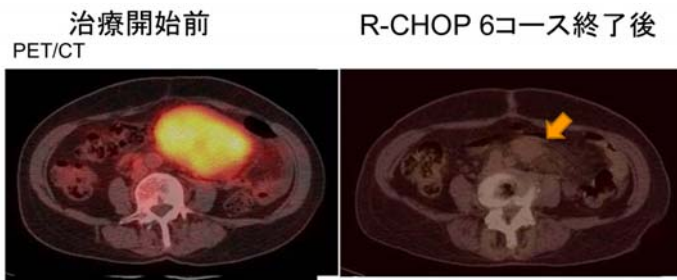
だけの場合よりも治る可能性が高くなるのが約10年前に報告され、R-CHOP療法がびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の標準的治療となりました。



〈図2：R-CHOP療法の流れ〉

## 2) 治療効果判定

治療前のリンパ腫の病変が全くなくなった状態を完全寛解（かんかい）と呼んでいます。最近、治療終了時の効果判定にもPET/CTが用いられるようになりました。実は、もともと治療前の病変が大きい（5～7cm以上）場合、治療終了時のCTで1～3cm大のこぶが残ってしまうことがあります。治療終了時のPETでこれが映らない場合、すでにそこにはリンパ腫細胞がないと考えられます（図3）。実際、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫ではこのような場所から1年以内に再発することはまれです。PET/CT検査を行うことによって、R-CHOP療法後に放射線療法などの追加治療を行うことが減っています。



〈図3：治療効果判定：治療終了後のCT、PET/CT〉

## リンパ腫の治療は今後どのように変わっていきますか？

まず、リンパ腫の治療は病型によって異なります。同じB細胞リンパ腫でもリツキシマブのみによる治療で十分な病型もある一方で、R-CHOP療法よりも強力な化学療法を行うことが勧められる病型もあります。胃にできる「MALTリンパ腫」では、治りにくい胃潰瘍の治療と同じようにヘリコバクター・ピロリ菌の除菌療法を1週間行うだけで半数以上の方が治ります。この10～15年の間にリンパ腫の新しいタイプがいくつも認識されるようになり、タイプごとの治療法が議論できるようになってきました。中にはこれが成功してこれまで治りにく

かったタイプのリンパ腫が上手に治せるようになりました。一方、今のところよい治療法が見つからないタイプもあります。今後も病型毎に最適な治療法の検討を行っていくのが私たちの役目です。

また、再発を起こさないように初回治療をより効果的なものにするのと、再発時の治療選択肢を増やしていく必要があります。ろほう性リンパ腫は、長期的にみると病気が再発してしまう患者さんが多いのですが、この5年間だけをみてもベンダムスチン、フルダラビン、放射免疫療法薬（ゼヴァリン）といった新しい薬が次々に登場してきています。一方、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫では、再発した場合、これまで使っていない種類の抗がん剤の組み合わせによる化学療法をまず行い、これが効果を示す場合、可能であれば続いて大量化学療法・自己末梢血幹細胞移植（自家移植）を行います。ただし、再発後、化学療法があまり効かない場合や、自家移植の対象とならない年齢の患者さんにとっては今のところ治療薬の選択肢は限られています。また、ここまで主にB細胞リンパ腫について述べてきましたが、T細胞リンパ腫はB細胞リンパ腫に比べて化学療法の効く割合が低く、リツキシマブに相当する抗体医薬が登場していません。現在、T細胞リンパ腫に対する新薬の開発が世界的なテーマになっています。

さいごに副作用の少ない治療を目指すという方向性について述べたいと思います。私たちはリンパ腫を治すために最良の手段を考えますが、治療中の副作用や、病気が治った後の暮らしに影響の少ない治療法が選択できるようにも考えています。化学療法や放射線療法は長期的にみるとリンパ腫以外の第2のがんを作ってしまう危険性ははらんでいます。よって、病型毎に治療を分けたり、PET/CTを使って追加治療の是非を判断することによって、不必要な治療を避けることが大事です。現時点での標準治療で治る可能性が高いタイプのリンパ腫では化学療法や放射線療法の回数を減らしても同等の治療効果が得られるか、といったことを確認するための臨床試験が行われています。

## さいごに

虎の門病院では、専門家による病理診断やPET/CTなどの画像診断の結果と患者さんの希望を踏まえてリンパ腫の患者さんが最適な治療が選べるように努めています。また、化学療法・放射線療法に加えて自家移植や同種移植などさまざまな治療選択肢がとりうるという点は当院でのリンパ腫の治療の特徴です。

## 分院「すずかけの広場」で 「リンゴ狩りを行いました」

分院総務課 岩本 隆

どこのリンゴ園の写真と思われますか？実は、分院の「すずかけの広場」のリンゴ「富士」の木です。3号棟の竣工後、ヒポクラテスの木を中心に造園した「すずかけの広場」に四季の変化を取り込むため、植えられました。小さくても食べられなくても赤い実がなれば、患者さん方に季節感を楽しんでいただけるのではないかと当時の設計者の発想です。

そして、数年前から実を付けていましたが大きくなることは出来ませんでした。ようやく10年目の今年になって、小振りながら見事に沢山のリンゴがなりました。残念ながら台風による強風で半数以上は落果し木は傾いてしまいましたが、力強い実だけが残りました。日増しに大きくなるリンゴを職員も患者さん方も足を止めて楽しみにしていました。

風にも負けずに頑張った初リンゴは、患者さん方に楽しんでいただこうと、グループワークで「リンゴ狩り」を計画しました。その場で食べていただきましたが、「おいしい」と好評な評価でした。又、一部職員も食べましたが、リンゴとして十分な歯ごたえと味だとの評価を得ました。

今年は、昼食のデザートとして多くの皆さんにもお分けできる様、リンゴの木に頑張らせます。ちなみに私も食べさせていただきました。不景気の強風に耐えられる様、エネルギーをもらいました。



## クリスマスコンサートが 開催されました

3階病棟 飯田 小代子

12月17日（土）の午後、本館1階外来ロビー（正面玄関前）で、医療サービス向上委員会主催によるクリスマスコンサートが行われました。当院職員を中心としたヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの合計8名による弦楽四重奏で演奏しました。

音楽を通して入院患者さんに楽しい時間を過ごしていただければとの思いで、「川の流れるように」「上を向いて歩こう」など馴染みのある曲を演奏したり、演奏に合わせてクリスマスソングを患者さんに歌っていただいたりしました。

100名を超える方が聞きにきてくださり、演奏に合わせて手拍子が聞こえ盛り上がりました。コンサートの後、入院中の患者さんから「感動しました」などのご感想をいただき、職員として嬉しく思います。



## ローマの、④休日

元精神科部長 栗原 雅直

ローマで年越しをしたのに、また10月にも行ってしまった。行きたい場所がいくつも残っていたからで、その一つがコロナ宮。映画『ローマの休日』で、アン王女になったオードリー・ヘップバーンが、最後に記者会見をした宮殿である。光と影の画家カラバッチョなど名画がたくさんあるが、土曜日の午前中だけしか開いていないので、普通はなかなかアクセスが難しい。

そこで年配の上品な日本人にお会いした。偶然にも彼は、私が30年以上も顧問をしていた某銀行の元理事さんであった。会議でロンドンに行く前に、この映画にちなむ場所をめぐっていたのである。例えば新聞記者グレゴリー・ペックの下宿なども訪ねたが、住人が親切に家の中まで見せてくれたという。昔はアンデルセン（1830年代のローマ滞在）の『即興詩人』の名所めぐりが流行ったというが、興味の対象も変わってきたようである。

謁見の大広間には油絵が何十枚も飾られ、豪華なものだった。入り口のすぐ側に3段ばかりの大理石の段があり、床が一部破れて、女子砲丸投げの玉のような砲弾が埋められていた。1797年ナポレオンがローマに侵攻した際、宮殿の天井を破って撃ち込まれた砲弾をそのまま残したそうである。天井の穴は塞いだが、床は当時のままだという。

あとで調べてみたら、ナポレオンはフランスの砲兵士官だったから、射撃はお手のもの。パリの市街戦のときには散弾を使って敵を敗走させたそうである。こんな昔の砲弾で人が殺せないことなど百も承知のはず。だからコロナ宮への砲撃はむしろ象徴的行為だったと思う。他方、撃ち込まれた宮殿の側が砲弾をわざわざ撃ち込まれたまま残しておいたのは、儀礼的記号的な意味があったのではないか。もっともこれはあとで思いついた下司の知恵なのだけだ。

ところでエマニュエル二世のイタリア統一は1861年で、記念堂は1911年の建立。真っ白で巨大なこの塔は、ランドマークとしては完璧だが、ローマ発祥の地をむしろ醜くしているという評判で、ウェディングケーキ、タイプライター、入れ歯などと悪評されている。

1961年の国際学会のとき、私はローマに家内を呼んだ。昔ローマに来る外国人はすべて北端にあるポポロ門を通ったが、われわれが泊まった宿ホテル・ロカルノも、偶然この門のすぐ側だった。お正月に来たときに訪ねそこなったので、今回50年ぶりにこの宿を訪れ、皆でカプチーノの味を楽しんだ。4つ星ホテルだったことを発見。貧乏学

者が久しぶりに妻と出会うため、ずいぶん気張ったなど今にして思うのである。

その時点では記念堂建立からは50年、イタリア建国から100年経っていたが、今年それが100年前と150年前になっている。記念堂建立の1911年と私がローマに来た1961年との50年の間に、ローマでは第一次世界大戦、ファシスト政権樹立とムッソリーニの大演説、ラテラノ条約（1929年イタリア国内でのバチカンの独立）、第二次世界大戦、ローマ無防備都市宣言など、事件が目白押しであった。おそらくアン王女のローマ訪問（1953年製作）もこの期間の出来事になるだろう。

ナポレオンのイタリア侵攻は、独立の60余年前であった。自分の一生というタイムスケールと比較できる形で歴史的時間が実感できたことに、新たな感動を覚えた。

今回のもう一つの計画は、ローマのレストランを再訪することだった。「とらのもん」第92号（平成23年3月）にもテベーレ河の中之島にあるレストラン『ソラ・レツラ』を紹介したが、今回も行ってみた。オーナーが覚えていてくれて、赤色のボールペンのサインをもらってきた。

（なお繁華街をめぐるミニ循環バスを、タダと紹介したが、有料の間違い。バス運賃の1ユーロを払わず、ただ乗りが発覚すると、50ユーロの罰金を徴収されるという。）

イタ飯は安くて美味しいので、わざわざでも食べに行きたい。今回食べた晩飯は、平均的には5人でワインを2本取り、パスタなどもシェアして、一人前が約3千円でおさまった。そんな注文でも快く受けるのは、イタリア人自身ダイエットの必要を切実に感じ始めたためらしい。



〈コロナ宮殿〉



〈ホテル・ロカルノ前の筆者夫妻〉



〈ソラ・レツラ再訪〉



〈エマニュエル二世記念堂〉



（出典：池田匡克『イタリアの老舗料理店』  
〔角川oneテーマ21〕）

## 虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時選定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

### 本院診療受付時間(初診)

内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
外科	8:30 - 11:00
脳神経外科	月～金 8:30 - 11:00 金 13:00 - 14:30 (紹介状があり予約された方は予約時間に 合わせてお越しください)
麻酔科	月・木 13:00 - 14:30
整形外科	8:30 - 10:30 (紹介状があり予約された方は予約時間に 合わせてお越しください)
形成外科	水以外 8:30 - 10:30
産婦人科	8:30 - 10:30 (予約された方は予約時間に合わせて お越しください)
泌尿器科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

- \* 予約直通電話番号  
 ・ 脳神経外科・整形外科:03-3583-1406(受付時間14:30-17:00)  
 ・ 産婦人科:03-3560-7751(受付時間14:30-16:30)

### 虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2  
 TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分  
**車でご来院の方:有料駐車場があります**  
 (大型車(全高1.55m以上)は除きます)  
 (30分:300円 患者さん割引あります)

### 虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1  
 TEL 044-877-5111 (代)

田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩15分  
 宮崎台駅よりバス5分(1時間に3本)

### さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1  
 さいたま新都心合同庁舎2号館1階  
 TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分  
 JR埼京線 北与野駅 徒歩8分  
 (診療科) 内科・精神科・歯科  
 平日 午前9:00~11:30 午後1:30~4:00



全面禁煙  
 当院は敷地内全面禁煙です。ご協力お願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.toranomon.gr.jp>

### 分院診療受付時間(初診)

	午前 8:30-10:30	午後 1:00-3:30
内科総合診療科 (一般内科)	○	○
肝臓内科	週による	週による
血液内科	火・木	月
女性内科	×	金
糖尿病・代謝科	○	月
呼吸器科	火・木	火(第1除く)
消化器内科	木	×
神経内科	月・火・水・金	×
循環器センター	×	水(第1)
腎センター(内科)	月・火・水・木	月・火・金
腎センター(外科)	月・金	×
精神科	×	月・火・木・金
小児科	×	月・水・金
皮膚科	×	火(第2・4) ※午後1時~2時
外科	火・水・金	金
整形外科	○ ※月は午前10時~	×
泌尿器科	×	木
歯科	○	○

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

### 人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院付属

健康管理センター・画像診断センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル

TEL 03-3560-7777 (平日11:00~16:30)

ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

### 当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。(完全予約制)

(料金) 30分:21,000円(延長15分毎:10,500円追加)

本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141